

地域社会への一層の貢献について

検討委員会で整理した論点に係る県短の取組及びアンケートでの関連意見等

論点①	子ども(小・中・高校生)に県短をよく知ってもらう必要があるのではないか。
取組内容	<p>○高校生を対象に、オープンキャンパス(夏)時に、各専攻にて講義を実施(学内でのミニ講義)</p> <p>*R7から秋のオープンキャンパスでも講義を実施予定</p> <p>○高校からの依頼を受け、学内でのミニ講義・高校での出張講義を実施</p> <p>○玉江小学校の校外学習の受入れ</p>
アンケート	○県内高校生(2年生)へのアンケートでは、「県短を知っている」又は「どのような学科等があるか知っている」と回答した生徒は、併せて6割余り
論点②	県民を対象とした講座・講演の更なる充実が必要ではないか。
取組内容	<p>○毎年1つのテーマを8回の講義に分けて実施(公開講座)</p> <p>○毎年秋に3週連続で金曜日の夜間に開催(金曜講演会)</p> <p>○毎年1回奄美群島で実施(奄美サテライト講座)</p>
アンケート	関連する意見等は特になし
論点③	地域との連携が必要ではないか。(例:地域行事等への参画)
取組内容	<p>○玉江小校区コミュニティ協議会会員(まちづくり部会委員)</p> <p>○鹿児島西警察署管内国際化対策連絡協議会会員</p>
アンケート	<p>○地域課題の解決などについて、フィールドワークなどを通じて、共に考えていけたら良い</p> <p>○在校生へのアンケートでは、県立短期大学で更に学びたいことについて「地域交流」との意見あり</p>
論点④	高校との連携強化が必要ではないか。
取組内容	<p>○県内高校との連絡会を開催(高等学校長対象:教育懇話会, 進路指導担当教諭対象:入試連絡会)</p> <p>○高校からの依頼を受け、学内でのミニ講義・高校での出張講義を実施</p>
アンケート	○県短で取り組んで欲しい教育内容等について、「高校での課題研究への助言, 高校の設備ではできない実践やアプローチ等」との意見あり

地域社会への一層の貢献について

論点⑤	企業との連携強化が必要ではないか。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○企業へのインターンシップ等企業を知る機会の確保 ○キャリアデザイン活動で、企業の人事担当者、卒業生との情報交換等を実施し、学生の就職活動に反映 ○「ネクスト鹿児島」に2024年10月1日に加盟（「産」（民間企業）「学」（高等教育機関）「金」（金融機関）が連携して地域創成に取り組む）
アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ○地域経済、企業などについて学ぶ機会があれば、学生も様々な企業に目を向けるようになり、より地域に根差した学校になるのではないか ○インターンシップによる就業体験（同意見他1件） ○会社見学や会社説明会など地元企業を知ってもらう機会を設けていただきたい ○地域課題の解決などについて、フィールドワークなどを通じて、共に考えていけたら良い【再掲】

論点⑥	県内大学との連携強化が必要ではないか。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○大学地域コンソーシアム鹿児島における取組（合同進学ガイダンス、他大学の講義受講（単位互換）） ○「ネクスト鹿児島」に2024年10月1日に加盟（「産」（民間企業）「学」（高等教育機関）「金」（金融機関）が連携して地域創成に取り組む）【再掲】
アンケート	関連する意見等は特になし